

令和5年度 瀬戸内タウンミーティング意見交換要旨（長船町公民館）

令和5年9月30日（土曜日）

午後2時～午後4時

長船町公民館2階大会議室

参加者：男性10人、女性5人 合計15人（事務局4人を除く）

（職員参加者、事務局を除くと男性4人、女性4人 合計8人）

★意見交換要旨★

- ・幼稚園の預かり保育の料金について、国から補助金が入っていて、幼稚園の預かり保育は1日50円で利用できるようになっている。普通に考えれば2日利用で100円、3日利用で150円、というように上がっていくはずだが、なぜか14日以上利用すると無料になるという現象が起こっている。おそらく原因は、補助金が入ったことによるもので、補助金が入ったときに、市で昔あった預かり保育の料金設定とうまく組み合わせてもらえればよかったが、急いで制度を整備しなければならなかったのか分からないが、今のような状況になっている。一般的に物やサービスを買ったら、比例して上がっていくはずなのに、割引されるというのであれば分かるが急に無料になることがわからない。他の市の状況を調べたが、こういったことはなかった。幼稚園の預かり保育は、いま無償化しているところが多いので、実際このような状況になっている市はない。どういう経緯でこうなってしまったのか。問題意識はないのか。

（市長）

一定日数以上利用される方の負担に配慮した制度になっている。多く働けばいいという認識はない。他市の取り組みも参考にしながら何か改善できることがあればという気持ちを持って取り組んでいる。一定期間以上利用される方と比較してどれだけ不公平であるか確認した上で、ご期待に沿える改善策にできるかどうか検討していく。

- ・統合報告書の「瀬戸内市のあゆみ」をみると、災害に関する記述が全くない。何年に何があったということ載せる必要があると思う。

（市長）

「瀬戸内市のあゆみ」のなかで、年表に51年災害や平成2年災害といった災害の記載については、今年見直しを行う。

- ・長船町公民館は、洪水時の避難所として生き残る方法はないか。

(市長)

この長船町公民館をどう考えるかだが、いま私たちが何とかしなくてはならないと考えるのは、地震の場合に市民の皆さん・利用者の皆さんの安全をどう守るかというところを中心に考えている。公民館がなくなるわけではなく、ゆめトピア長船の方で引き継ぎいろいろな活動をしてもらえるようにしていこうと考えている。建物を残すというよりは、この場所を、福里を中心とした皆さんに、どう心の拠り所あるいは安全安心を提供していくかということに繋げていくかが私たちに与えられた使命だと思っている。決してこの建物を、取り壊して更地にして、一般住宅が立ち並ぶということをしようとは全く考えていない。なので、この場所をどのような公共的な役割を担う施設あるいは場所にしていくかということ、ぜひ地域の皆さんと相談しながら活用を考えていきたいと思っている。具体的な話がまだ定まっていないので何を作るかはまだはっきり言えないが、前からご要望いただいていることは、しっかり頭に置いている。避難所としての機能が残るような使い方をどうすればできるのか。それも、1階ではなく2階に避難所をどう作れるかということ、そのあたりを解決できるように知恵を絞っていきたい。ただ避難所として利用し、普段は何にも使わないということにはできない。いざというときに避難所として使える集会所をここへ作るということになると、それにはかなり大きな場所が必要になってくる。集会所として避難所をここに作ることは、なかなか難しいと思う。それ以外の方法で考えていきたいと思っているので、もう少し時間をいただきたい。

- ・長船地区周辺の田んぼがかなり埋まってきており、田んぼが元々持っている貯水機能が減りつつある。排水ポンプがあるから安心だといわれても、一反で1cmの水位が上がってしまうおそれがある。

(市長)

市街化が進む地域というのは、もっと小さい面積できちんと排水機能や調整池を作ること、下水道の汚水の流れを繋ぐことなど色々なルールがあり埋めているが、今から、福里地域の田んぼを田んぼにしか使えないように変更することはできない。排水の問題というのは重要な問題なので、これからのまちづくりのなかで、どうルールを作れるか考えていきたい。

- ・洪水の話があったが、福岡地区には高い建物が全くない。瀬戸内記念病院が高い建物だから、ここを避難場所として考えられないか。

(市長)

行幸地区をはじめ、災害に備えてタイムラインを皆で作ろうということや、地域単位でどう逃げるかということを経験した地域ですでに検討していただいている。ゆめトピアまでなかなか行けないとなると、行幸小学校や記念病院や長船サービスエリアを利用させていただけるかということをお考えいただけない。

(危機管理課)

瀬戸内記念病院については、いまはまだ防災協定を結んでいないが、地域の方の意見があれば市からお話をしながら、一時的な地域の方の避難場所として考えていただくこともできると思う。

・最近アニメ「鬼滅の刃」の影響もあり子どもたちが刀や刀鍛冶に興味を持っているように思う。この夏休みにも以前と比べて多くの子どもたちが刀剣博物館に来ている。このように、ニーズを踏まえて、子どもたちが刀剣や刀鍛冶に親しみを持ってもらえるようにしっかり頑張ってもらいたい。

(市長)

性別や年代など関係なく幅広い層の皆さんが、刀に関心を持っていて一昔前とは状況がかなり変化した。アニメなどのサブカルチャーを通じて刀の魅力を知り関心を持ってもらえることはとても大事だと思う。今年行われる「刀剣乱舞」とのコラボも大きな役割を果たしてくれると思うので期待している。観光協会とも連携しながら、子どもたちに刀に触れるきっかけや魅力を知るきっかけを伝えていく取り組みを引き続き行っていきたい。

皆さんのおかげで、今や刀剣博物館は長船地域の中の博物館にとどまらず、日本を代表する博物館に成長しようとしている。市も、この流れに追い風を送っていきたい。

・瀬戸内市はまだ観光資源を十分に活用できていない。瀬戸内市は牛窓をはじめとして、夢二の生家や福岡地区、砥石城跡など色々な観光資源があるが、こういうものをできるだけ知ってもらうために、観光客に瀬戸内市内に留まってもらい、より深く瀬戸内市を知ってもらうアイテムを整えることが必要だと考える。その手段として、小規模な宿泊施設を誘致することを提案したい。若い人や外国人の方々が気軽に泊まりやすいペンションのようなものを作り、瀬戸内市の魅力を色々な所へ発信してもらいたい。国内ではユーチューバーなどに発信してもらえれば一番効果が出ると思う。市長の観光地における考えを聞きたい。

(市長)

瀬戸内市は外国人観光客も多く訪れ、3町それぞれに観光資源があるが、おっしゃっていただいたとおり通過地点にしかなくない。牛窓では、小さなゲストハウスなどの施設が少しずつ増えており、また市では、空き家を活用して事業所を開設する方に対する補助金があるので、これを活用してゲストハウスなどを作っていただけたらと思う。市が支援しながら、ゲストハウスなどの宿泊場所が増え、色々な場所が市内の宿泊エリアになっていけばいいと思う。

- ・岡山市、倉敷市を観光して、次にどこを観光しようかと思ったときに、「瀬戸内市に行ったら泊まりたい」と思わせるものができればいいと思う。

(市長)

外国人観光客へは、例えば、市内の神社での祈祷など、私たちの生活にあるものが非常に面白いと思って喜んでいただけるかもしれない。地域の皆さんへ我々が「これをやってください」とお願いするのではなく、地域の皆さんが企画したことを、市が積極的に応援していきたい。今の時代に合った視点で私たちも地域の活性化を考えていきたい。

- ・瀬戸内市のごみ袋に名前を書いて出す人はどれくらいいるか。書かなくてもいい町内会が多いと思うが、袋に記入欄があるので名前を書いて出している。

(市長)

指定ごみ袋には氏名を記入する欄があるが、記入は強制ではない。町内でこれまでのきたりや慣例があるので、それを考えて記入欄を残した方がいいという状況になっている。もし地域の皆さんで「書くのをやめよう」となれば、やめていただいてもいいので、それぞれの町内会・自治会にお任せしたいと思う。

- ・土地造成が増え、人が増えてきている。公共下水道が、土師全体をみると、公平に整備される計画になっていないように思う。長船駅前から広がってきているが、道を隔てて南から西までは計画されていないように見える。周辺地域で、ある程度公平な計画を考えてほしい。

(市長)

下水道については土師のみならず、福岡・八日市もだが、下水道が行き届いていない地域がたくさんある。どこまで将来にわたって、しっかり下水道を整備した地域にしていくかというのは本当に難しい問題で、いま過渡期で岐路に差し掛かっている。国からは、実現可能なエリアにまず絞るよう言われているので、市も現在の下水処理場の能力に見合っただけのエリアで一旦止めることを考えているが、更に人口が増えれば、下水道処理場も増やすことを考えなければならない。不公平感があるというこ

とを十分認識しながら、これからも採算が見込めるところはしっかり開発していきたい。